



県央かわら版

第130号

令和5年10月20日発行

発行所

一般社団法人県央研究所

旅館でカンピロバクター検出 部活 遠征の中学生ら44人食中毒

山形県千曲市の旅館の食事が原因で、諏訪市と茅野市の中学生など44人が食中毒にかかっていたことがわかりました。保健所は、この旅館の調理部門に対し、営業停止を命じました。

県によると、旅館で食事をした諏訪保健所管内の中学校2校の生徒あわせて39人と、引率の担当者5人が、カンピロバクターによる食中毒に感染したと断定されました。

2校は、部活動の遠征中だったということと、現在は全員が快方に向かっているということです。



参考・引用：SBC信州放送

秋の散策 毒キノコには注意！

東京都は、新宿区の家族4人が毒キノコ「デングタケ」を食べて食中毒を起こしたと発表しました。うち2人が一時入院しましたが、現在は全員回復したということです。



発表によると、食中毒になったのは11〜49歳の男女4人。一家は、埼玉県内の公園で採ったキノコをその日の夜にいためて食べ、錯乱や嘔吐などの症状が出ました。インターネットの画像検索機能を使って食べられるキノコかどうか確認していたが、デングタケとは気づかなかったということです。

都内でキノコによる食中毒が起きたのは2011年以来。都は「確実に食用とわからないキノコは、採らない、食べない、人にあげない、を守ってほしい」と呼びかけています。

参考・引用：SBC信州放送

インフルエンザ増加 例年より早く本格的な流行も…

インフルエンザの感染状況について、国立感染症研究所などによりますと、10月8日までの1週間に全国およそ5000か所の医療機関から報告されたインフルエンザの患者数は、前の週より2000人近く増え、4万9212人となりました。1医療機関あたりの患者数は全国で9・99人で、このデータをもとに推計されるこの1週間の全国の患者数はおよそ32万6000人となっています。



10人を超えています。厚生労働省は、ことし2月以降、インフルエンザの患者が多い状態で推移していて、例年より早く本格的な流行になる可能性があると、すべての年齢の人に対して注意を呼びかけています。

日本感染症学会 岡山県倉敷中央病院の石田副院長は、現在のインフルエンザの流行状況について、「インフルエンザの感染者の数は、爆発的には増えていないが、緩やかな増加傾向が全国的に続いている」と指摘。

今後については、「日本でも例年は年末年始に流行のピークを迎えるが、ことしは12月上旬にはピークになる可能性もある」と話しています。

その上で、今後の注意点について「インフルエンザは本格的な流行を早い時期に迎える可能性がありワクチン接種を希望する人は例年より前倒しで11月上旬には済ませてほしい。新型コロナウイルスも冬に向けて再び感染拡大し、インフルエンザとの同時流行も懸念される。それぞれの感染を避けるためには基本的な感染対策が引き続き有効で、人混みではマスクを着用すること、手洗いを習慣づけることなどが大事になる」と注意を呼びかけています。



インフルエンザ患者数 (1医療機関当たり)	
1. 沖縄県	30.85人
2. 千葉県	21.08人
3. 山口県	19.22人
4. 大分県	18.00人
5. 愛媛県	16.69人
6. 東京都	16.44人
7. 埼玉県	16.14人
8. 神奈川県	15.84人
9. 宮城県	14.19人
10. 熊本県	12.46人

2023年40週 (10月02日～10月08日) 2023年10月11日集計 出典：国立感染症研究所

PICK UP NEWS

「燕三条鉄シリーズ」 ハナルビールを発売！

金物のまち、燕三条地域を食品で表現した「燕三条鉄シリーズ」に新作のビールテイストノンアルコール飲料「ツバサンフリー」が登場しました。

鉄の独特な「コク」と「キレ」、苦みを生かしたビールに近いテイストで、ビールメーカーが作る麦芽とホップを使った本格派ということ。同商品は、310ml入りで648円(税込)。参考・引用：Kenoh.com



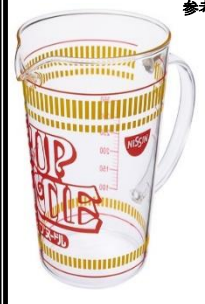
カップヌードル専用 計量カップ限定発売

日清食品は、「カップヌードル オリジナル計量カップ付きセット」を発売しました。

同商品は、調理に必要な水の量がサイズごとに目盛りで示されており、水を入れた計量カップをそのまま電子レンジで加熱することにより、必要な量のお湯を沸かすことができます。また、通常の計量目盛りも付いているので、普段の料理の際にも使用できます。

「カップヌードル オリジナル計量カップ」1個と「カップヌードル」「カップヌードル カレー」「カップヌードル シーフードヌードル」の3サイズ(レギュラー、ビッグ、ミニ)各1食が入った特別セットを数量限定を発売。日清食品オンラインストア他、各通販サイト(Amazon.co.jp他)でも順次発売予定。

参考・引用：日清食品H.P



ムダなく水を計れる！



参考・引用：NHK NEWS WEB

皆様からの情報・ご意見をお待ちしております。県央から版では、食品環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただきたいものや、旬な話題等が一般社団法人県央研究所 県央から版事務局 電話 0256(46)8311 FAX 0256(46)8310 Eメール info@kenoh-labo.or.jp

村上市瀬波温泉にある 元祖きむらや様 をお訪ねしました。



元祖きむらや様は、村上市瀬波温泉で1948年創業の元祖老舗饅頭屋。素材にこだわり上品な甘さと時代に左右されない素朴な味わいの「瀬波まんじゅう」が多くの観光客から愛されている名物商品です。また、新潟県産コシヒカリを使用した「米粉焼ドーナツ」は油で揚げず焼いているのでヘルシー。ここでしか味わえない「ふわもち」食感のドーナツは男女問わず人気。そして、新潟清酒から生まれた新食材「さかすけ」を練り込んだ、米粉焼ドーナツも注目商品です。

瀬波まんじゅう

(1個100円、箱入りは8個入り900円～)
写真左から、紫蘇(シソ)・糖蜜・抹茶の3種類。創業当時から変わらないラインアップですが、時代に合わせて甘さは控えめに。物がなかなか手に入らない時代、初代がこだわったのが原材料と手間をいとわない手作りの味でした。そのこだわりは現在も変わらず、素朴な味わいが多くの人を魅了しています。



■糖蜜(中央) 瀬波の定番

甘みを抑え、つついもうひとつと手が伸びてしまう上品な味わい

■紫蘇(左) 店頭限定

生地に紫蘇を練りこんだ、珍しいおまんじゅう。さわやかな甘さで幅広い年代に人気。

■抹茶(右) 店頭販売

県北の茶処、村上でとれた抹茶を餡と記事に練りこんだ上品な味わい

業60余年の老舗の味



店頭でお出迎えしてくれるのは、マスコットキャラクター「おふくさん」のオブジェ。



伝 統

きむらやの初代勇吉さんは、別府温泉を旅行中に温泉まんじゅうに出会い、瀬波温泉でも作れないかと考えました。その後、初代の奥さんが中心となり製造を開始。原材料にこだわり、全国でも珍しい3種類の味の瀬波まんじゅうを作り上げました。

現在、その味と技は三代目・木村亮太さんに受け継がれています。

亮太さんが2014年から販売を開始した米粉焼ドーナツも好評です。揚げずに焼き上げているため、もちもちとした食感に仕上がるのが特長。今では秋田や仙台などからもリピーターが訪れる程の人気商品になっています。

米粉焼きドーナツ 価格:180円(税込)

プレーン・いちご・抹茶・バナナ・メープル・ほうじ茶・さかすけ、季節限定のマロン・かぼちゃなど豊富な種類。新潟県産米粉を使用した「ふわもち」の食感ドーナツ。また、乳酸菌発酵酒粕「さかすけ」も人気商品です。

店頭でお出迎えしてくれるのは、マスコットキャラクター「おふくさん」のオブジェ。こちらを目印に、ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか。



元祖きむらや

村上市瀬波温泉 2-6-25

電話:0254-52-3663

受付時間 8:30~17:00

(月~金/祝日除く)

《 瀬波温泉の歴史 》

明治37(1904)年、石油掘削中に熱湯が噴出したのが瀬波温泉のはじまりです。その前夜、お狐様がコンコンと鳴き、温泉噴出を知らせたという話が残されています。豊富な湯量を誇り、およそ95℃という源泉の熱さから、別名・熱の湯ともいわれています。

日本海に面した絶好のロケーション、その風光明媚なさまから、昭和12(1937)年2月に瀬波温泉を訪れた歌人・与謝野晶子は「温泉は いみじき瀧のいきほいを天に示して 逆しまに飛ぶ」をはじめとした45首もの歌を詠み上げました。



県央のつぶやき

まんじゅうづくりは季節や天気によって配合する水分量が異なるなど、繊細な管理が求められます。とてもシビアな世界ですね。

このしっとり感と食感、甘さ加減や香りがその地域の温泉場、お店のおまんじゅうの特徴になっているのではないかと思います。